

ほけんだより 11月号

令和4年度
あゆみ保育園
園長 江郷勝哉
看護師 高瀬浩子

紅葉している木々も増え、秋の深まりを感じます。気温が低くなってきたせいか、鼻水・咳の症状が出ているお子様が多くなっています。今年の冬は、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザウイルスにも注意が必要です。徐々に肌寒く感じる日も多くなってきましたが、子ども達は、外で元気に遊ぶことで体力がつかます。保育園がお休みの日も、外遊びを沢山できるように、公園に出かけてみましょう！

<11月の身体測定予定>

- 7日(月) 幼児クラス
- 8日(火) 乳児クラス

<先月の感染症(9月20日~10月20日)>

新型コロナウイルス	乳児3名 幼児2名
手足口病	乳児8名
溶連菌感染症	乳児1名
感染性胃腸炎	乳児3名
流行性耳下腺炎	幼児1名
その他:0歳児クラスで「嘔吐・下痢症状」が流行しました。	

~保育園での嘔吐物、便の取り扱いについてのお願い~

これから寒くなってくると、本格的に「ノロウイルス」などの感染性胃腸炎が流行します。そして、この時期は園内で嘔吐するケースが増えてきます。あゆみ保育園では、「保育所における感染症対策ガイドライン」に沿って感染症対策を行っています。感染拡大を防ぐためにも、下記の内容にご理解とご協力を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

- 嘔吐物や便で汚れた衣類などは洗わずにビニール袋に入れご家庭にお返しします(園内で洗うと、ウイルスが拡散してしまうため)。
- 汚れものを持ち帰った際、お子様が感染症にかかっていることが疑われる場合は、家庭内での感染を防ぐため消毒を行ってください。

①はじめにマスク、ビニール手袋をつける。

②0.02%次亜塩素酸ナトリウムで30分以上つけ置きし、他のものと分けて洗う。洗い場はよく洗浄・消毒する。

<0.02%次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方>

- 2Lのペットボトルを用意する。
- 水道水を2L入れる。
- 家庭用塩素系漂白剤5%(ハイターなど)をペットボトルのキャップ2杯分入れる。



~インフルエンザについて~

今年の冬は、インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が予測されています。各医療機関で予防接種が始まっています。インフルエンザに罹患した場合の重症化を防ぐためにも、できるだけ接種することをおすすめします。

~インフルエンザ~

- 感染経路…飛沫感染、接触感染、くしゃみや咳は約2mも飛び散ることが確認されています。
- 症状…鼻腔や喉などの気道感染から始まります。急激な発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状から始まり、同時かやや遅れて鼻汁、咳嗽などの呼吸器症状があらわれます。熱は39~40℃のことが多く、3~5日程度持続します。
- インフルエンザは発熱する24時間前から感染力を持ち、解熱後も48時間は排菌し続けるといわれています。潜伏期間は1~7日です。インフルエンザにかかった方と接触した場合は、十分注意しましょう。
- 予防のために・・・手洗い、マスクの着用、消毒。

<インフルエンザに罹った時…登園時の注意>

「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで」が登園停止期間となります。発症・解熱した当日はカウントしません。御協力宜しくお願い致します。登園する際は、医師の書いた「意見書」が必要です。

- 10月は、ぺんぎんさん(2歳児)と、幼児クラスを対象に、「手洗い指導」を行いました。今回は、『泡の色が変わるせっけん』を使って手洗いをしました。最初は「オレンジ色」の泡ですが、時間をかけてしっかり手を洗うと、泡の色が「白色」に変化します。お子様達は、泡の色が変わっていくのを楽しんでいました。お家でも手洗いをしっかりして、感染予防をしていきましょう！

